

創刊号



ニュース

ニュース

加盟団体

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダース
- ・ 湧永製薬
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ 広島東洋カープ
- ・ ソフトテニスクラブ
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ レッドスパークスホッケー部

ホッケー女子 日本リーグ



初制覇へ白星発進

《日本リーグ第1節 成績》

11日	○1 (1-0, 0-0)	0 東海学院大
12日	▽0 (0-0, 0-0)	0 ソニー一宮

25、26日 地元開幕戦

昨シーズンは4位ながら過去最高の成績を残した。今シーズンは有力新人を獲得し攻撃力がアップ。柳承辰監督は「攻撃的ホッケーで初優勝を」と手応えを感じている。

開幕第2戦のソニー一宮に引き分けたことは自信につながったはずだ。25、26日は地元で2試合を戦う。25日は15時から立命大、26日は14時から南都銀行と対戦する。多くの声援で選手の背中を押そう。

ホッケー女子日本リーグは11日開幕、コカ・コーラウエストレッドスパークス(WRS)は岐阜県グリーンスタジアムで2試合を行った。

開幕戦は東海学院大と対戦。前半16分に挙げた新人・爲藤(天理大出)のゴールを守り切って白星スタートを切った。

続く第2戦は3連覇を狙うソニー一宮。押し気味な展開ながら、ゴールが割れず、スコアレスドローとなった。

◆発行のごあいさつ◆



NPO法人トップス広島
理事長 山下 仁

(JTサンダース部長)

現在「NPO／トップス広島」は、サンフレッチェ広島、JTサンダース、湧永製薬、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、NTT西日本広島ソフトテニスクラブ、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケー部、広島東洋カープの9チームが加盟し今年結成10周年を迎えます。

加盟チームは、お互いに連携をとりながら、スポーツの普及、指導、育成に関する事業を行い、スポーツを通じた社会貢献に寄与することを目的に「スポーツ王国ひろしま」の実現を目指し、活動を行っております。

ニュース発行により広く活動ぶりを紹介していきます。ご声援よろしくお願い致します。

女子 各年代日本代表

▽日本代表 佐々木 舞、大庭彩加、埴田光理
▽U-21日本代表 水間奈津紀、山本彩加(新人=翔洋高出)
▽U-18日本代表 榎本有花(新人=和歌山信愛女短大付高)

男子A 2年連続準優勝

アジアカップひろしま国際
アジアカップひろしま国際大会は3月14、15日、広島中央コートなどで開かれ、男子Aは韓国・聞慶市庁に1-2で惜敗、2年連続準優勝。女子Aは準決勝で東芝姫路店に敗れた。

全日本女子選抜大会は4、5日、東京体育館で開かれ、ダブルスには佐々木・山本ペア、埴田・大庭ペアが参加、佐々木・山本ペアが2位、埴田・大庭ペアがベスト8に入った。

シングルスには水間奈津紀が出場したが、準決勝で優勝した柴崎(東芝姫路店)に惜敗、3位となった。

佐々木・山本組は2位
全日本女子選抜大会



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



堀越 ラストゲーム4強 アジアカップひろしま国際

日本代表主将を務める堀越選手が、10年間の選手生活に終止符を打ち、コーチとして後輩を指導する。3月のアジアカップは、優勝した。堀越選手は、

ろしま国際大会。佐々木と組んで準決勝に臨んだが、勝てなかった。堀越選手は、

3度の全日本選手権。選んだのは、堀越選手。日本代表監督をなす。堀越選手は、

日野・小池ペア 初戦敗退
ナショナル開幕となる大阪インターナショナルチャレンジ2009選手権は1日から5日間、大阪府守口市市民体育館で行われ、日野・小池ペアは2回戦(初戦)で楠谷・前田ペア(NE2SKY)に0-2で敗れた。

6月 広島で全日本実業団

全日本実業団選手権が6月17日から5日間、広島グリーンアリーナと広島市東区スポーツセンターで行われる。日本リーグ1部復帰を目指して熱いプレーを地元ファンに披露したいと燃えている。



単複 制覇

ひろしまオープン

全国大会出場者が集う広島オープン大会は、3月7、8日に広島サンプラザで開かれた。一般女子1部に出場した広島ガス勢はシングルスで後藤舞が2年連続2度目の優勝を飾り、ダブルスの日野・小池ペアが初優勝した。

また、シングルスでは本山が準優勝、ダブルスの橋本・早川が準優勝、福井(広島県協会)と組んだ寺本が3位入り、3強を独占した。

2月にあった日本リーグ入れ替え戦で2部に降格して初めての大会。新しいシーズンに向けて自信を取り戻すには格好の成績を残すことが出来た。

この大会をきっかけに今シーズンへ力強く羽ばたいてくれることだろう。

1年でJ1に復帰した2009年シーズンは3月7日開幕、リーグ5試合目の柏戦でJ1通算200勝を達成した。

トルコ、宮崎でのキャンプではトレーニングマッチを中心に戦術強化、レベルアップに励んだ。

開幕戦、横浜との戦いは爽快だった。目指す「人もボールも動くサッカー」が全開、4-2と会心の試合運びで白星スタートを切った。

地元での初戦は同15日。大宮をビッグアーチに迎え2万人を超えるサポーターが詰め掛けた。先手を奪ったが結局は転負け、地元開幕戦は飾れなかった。

続く鹿島戦は悔しい敗戦だった。後半、スタノフがPKを決めて追いつき引き分けかと思われたロスタイムに失点、2連敗となった。

G大阪にはいい形で戦いながら勝ち切れず引き分けたが、柏には地元サポーターを沸かせ、地元初勝利挙げると同時にJ1通算200勝を達成した。

ナビスコカップでは浦和を攻守に圧倒、佐藤寿のゴールで快勝した。浦和からの白星は1999年3月27日以来10年ぶり。リーグ戦と合わせ16試合ぶりの快挙。



J1通算200勝達成

3季連続4強入り逃す



ゴメス得点王

バレーボールのプレミアリーグは3月22日、レギュラーラウンドが終わり、JTサンダーズは14勝14敗、勝率5割で5位。3年続けて4強で争う決勝ラウンド進出を逃した。

	試	勝	敗	勝率	セット率
①サントリー	28	22	6	0.786	2.176
②東レ	28	20	8	0.714	2.000
③堺	28	15	13	0.536	1.167
④パナソニック	28	15	13	0.536	1.074
⑤JT	28	14	14	0.500	1.000
⑥豊田合成	28	12	16	0.429	0.879
⑦NEC	28	11	17	0.393	0.703
⑧大分三好	28	3	25	0.107	0.228

3年ぶりの決勝ラウンド進出、優勝を目指してスタートしたゴードン新体制だったが5位に終わり、またも復活はならなかった。

最後まで4強入りへ希望をつなぎ懸命な戦いを見せたが、要所で黒星が大きいのしかかった。また、序盤でリベロ酒井の離脱も指揮官が描いたシナリオの狂わせる結果になった。

そうした中で新外国人ゴメスが674点を挙げ得点王に輝いたのは、せめてもの救いと言えよう。

小川が初めての全日本

リベロ酒井と2人選出

09年度の全日本登録メンバー35人が決まり、JTからウイングスパイカー小川旭、リベロ酒井大祐が選ばれた。また今年度の国際大会開幕戦となるワールドリーグ2009候補22人に小川が入った。最終的には19人がエントリーされる。同大会は6月13、14日、埼玉でのロシア戦で始まる。

◆J1リーグ結果◆

第1節	○4 (3-1, 1-1)	2横濱	日産ス
第2節	●2 (1-1, 1-2)	2大宮	広島ビ
第3節	●1 (0-1, 1-1)	2鹿島	カシマ
第4節	▽2 (2-1, 0-1)	2G大阪	万博
第5節	○4 (1-0, 3-1)	1柏	広島ビ
第6節	▽3 (1-3, 2-0)	3新潟	東北電

◆ヤマザキナビスコカップ◆

第1節	○1 (1-0, 0-0)	0浦和	広島ビ
-----	---------------	-----	-----

東京マラソン

梅木15位 尾方は棄権

東京マラソンは3月22日、8月の世界選手権代表選考会を兼ねて行われ、梅木蔵雄は2時間16分46秒で15位だった。北京五輪代表の尾方剛は悔しい途中棄権となった。

山口で3月15日に開かれた全日本実業団ハーフマラソンに6選手が出場、佐藤敦が1時間1分29秒で2位となり、10月に英国パーミンガムでの世界ハーフマラソンの出場権を獲得した。また、岡本直己は1時間2分16秒で7位、9月のグレートスコティッシュハーフマラソンの出場権を得た。

★田中が11位 金栗記念5000
4日に金栗記念中長距離熊本大会が行われ、一般5000部に出場した田子康宏が13分53秒03で11位に入る力走を見せた。

佐藤 見事2位入賞

3月28日にヨルダンのアンマンであった世界クロスカントリリーディング大会の日本代表初出場した。アジア・クロスカントリリーディング大会では38分2秒で76位だったが、世界の舞台を経験したことで、いつそこの飛躍が期待されている。

中国電力陸上競技部

世界クロカン
岡本が初出場

「トップス広島」の

目指すものとは

正式名称

NPO法人 広島トップススポーツクラブ
ネットワーク

「オール広島 オール・スポーツ」の実現

■すべての広島の人々が、すべての広島のスポーツ（チーム・選手）を応援するような、郷土愛あふれる広島の実現に向けて努力します

■多くの人々が、単一の競技種目にとどまらず、さまざまなスポーツに接する機会をつくり、する人・みる人・支えている人、すべての人で感動を分かち合い「スポーツって素晴らしい」「スポーツって楽しい」と思ってもらえるよう努力します

■そして、夢と潤いのある「スポーツ王国ひろしま」の実現と地域の活性化に貢献したいと考えています

■そのために、私たちが率先して、競技種目の枠を超え、協力していきます



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

マツダスタジアムのイベントに参加

トップスの4団体選手ら

《参加選手》

- ・中国電力陸上部 尾方 剛
- ・湧永製薬 山中 基、武藤剛、佐藤智仁
- ・広島メイプルレッズ 伊藤 瞳、植垣 暁恵、新城 明奈
- ・広島ガスバドミントン部 寺本 悦子、橋本 麻衣子、早川 由希子、後藤 舞、本山 祥子

新広島市民球場「MAZDA ZOOM-ZOOMスタジアム広島」完成を記念して2日、広島青年会議所のイベント「『烈 Dream On! ~今、誕生の時~』想いよ“旗”めけ! 新市民球場からはじめよう」が開かれた。

子供たちや障害者とともにトップス広島に加盟する中国電力陸上部、ハンドボールの湧永製薬、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部の4チームの選手ら19人が参加した。

加盟8チームが手形やメッセージを寄せた大きなカーブ横断幕「烈 フラッグ」作成に協力したほか、球場内を見学したり、参加者全員での大合唱などを行った。

広島の新しいスポーツ文化として注目される施設の今後の発展を願ってのイベント。広島県・市民の夢を乗せて素晴らしい戦いが見たいし、カーブ優勝につながることを期待したい。